昭和二十一年六月一日（第三種郵便物認可）　（一）　昭和二十三年七月十三日　いわき民報　夕刊　（日曜金）　第六百八十號

いわき民報

平市田町編輯兼印刷人　四倉町一ノ行人　発行人　但し一部一円三十錢　一月分五円　電話三八一番　已に千輝を除く　定価　発行所　社報民きわい

米は十日分ずつだけ
砂糖は九月は配給されない
平食糧公團の兩月の見透し

平食糧公團の八、九兩月中の主食配給見透しに依ると、端境期を控えている關係上米は八、九月とも十日分、殘り八月は砂糖が四日分と馬鈴薯十五日分（供出量に依り多少の相違ある見込）でその他は輸入麥又內地麥で補給する九月は八月と大差なくただ砂糖だけが除かれる、なお炭鑛關係は八、九月とも米六〇%、麥二〇%その他輸入食糧二〇%の割となる

實兄を刺殺
◇昨夕又も川部村の慘劇◇

川部村三濱炭鑛夫富山德五郎（二六）は二十八日午後四時ごろ實兄全村魚商富山秀俊さん（四三）を自宅前の畑に連れ出し所持したナイフで右乳下を刺し即死させたが二十九日午前四時半ごろ稻田地區署へ自首した、原因は財産問題からとみられている

江尻氏當選

小名濱農委補選は出馬を傳えられた飯塚新四郎、鈴木一男兩氏の歡心で無競爭で江尻三睦郎氏が當選

野荒五人組

小名濱警察署井、新關兩巡査は二十八日午前一時頃全町消防團の協力を得て野荒退治を行つた結果、定西地內で荒している全町宮下中山齊藏佰職柴崎德男（二七）町田榮七（二七）西村繁夫（四六）若月良平（二四）會原清（二二）の一味五名を逃捕した、柴崎等は去る八日夜泉村瀧尻地內で南瓜十貫、二十五日夜は全町字後田地內で瓜約十五貫を二十七日夜は泉村から又南瓜十六貫を盜んでいたもの

三瓶、永山孃も出場
山形の全日本陸上競技大會へ

山形市で八月十四日から二日間開かれる全日本陸上選手權大會に縣代表として市郡からの參加メンバーは左の通りで過日の高校大會に走高跳で日本的記錄を出した永山孃もホープ三瓶孃と肩を並べ出場する

◇一般男子（走高跳山家博孝（常磐）

◇一般女子八〇米障害三瓶陽子（磐女）走高跳永山詠子（磐女）三瓶陽子（全）百米リレー（磐女高チーム）鵜沼サク子、渡邊擔子、西丸洋子、三瓶陽子

モーター——市內古鍛冶ドロ御用——町ブローカー佐々貞雄（二三）鎭田町橋本喜四郎（二一）新川町土工岩田幹治（一九）—假名—の三名は共謀、去る二十五日夜永戸村合戸合津巳之吉さん（六八）方製材工場から十五馬力モーター一台時價六万円相當を盜んだもの

森田文相 來縣

森田文相は二十八日午後一時高警察隊下り列車で勿來町を來訪、社會黨勿來分會菊多支部の主催の講演會にも出席更に全夜稻田青年民主同盟共催の懇談會にのぞみ、國際狀勢と國內政局をめぐる社會黨の立場を明かにした後青少年不良化防止と青少年の責任地に自覺を强調、全夜は全町に一泊二十九日朝歸京した

小名濱定時制高校開始

小名濱定時制高校は二十七日入學考査を行つたが、百五名の志願者中八十名が合格した

大東鑛の現地調査

石炭特別勞働委員會は二十八日豚特勞委事務局中出張所に開き茨城地區大東炭鑛紛爭實體調査のため大東炭鑛石原社長和木所長、全石炭大東支部代表丸山、岡部兩氏、大東勞働者代表一名宛計四名が二十九日朝上京した

木工製品の展示會

會議所と木製品工組の共同主催

本社文化祭期間に

平ク出場

三十日から二日間甲府市に開かれる東日本軟式庭球大會への縣代表は平クラブと決定

本社提唱 七夕行事見學申込
逸早く水戸商工會議所から

平市の七夕は本社主催で本年からいよ〳〵復活各町內で今からこれが飾り付に準備を進めているが、水戸市に於ても本計畫を聽き毎年の行事にしたい意こうで關係者多數が視察に來平すると今回水戸商工會議所から平會議所に通知あつた

物資リンク制
配給協議會も設置
未報告鑛には配給停止處分て

平石炭局では二十八日市勞働會館に炭鑛リンク制改正並に生活物資食糧等に關する說明會を開いたが、物資配給要領改正によると

地下足袋だけは坑內夫採炭夫とも稼動日數二十六日だつたものが三十日に坑內A級三十二日は四十日坑內B級五十九日は同樣坑外夫一五六日は一一〇日と改正された

又リンク制物資の各ヤマの受配報告は遲れたり出さないところもあるが、今後は毎月十日までに完全に報告せぬ場合は以後配給は一切停止することも申し合せた、なお物資の自給計畫中央への円滑配給要望等のためリンク制物資推進協議會も設置することゝした

森田文相 來縣

きのう勿來町と稻田町で講演會

合格者は日本水素工場六〇%町內三〇%、近村一〇%で入學式は三十日

◇男子一般・小川、志賀組宮川、齊藤組　鈴木猪狩組石上・條原組

◇女子一般・千葉・大門組市原、渡邊組

全吏員に有給休暇——一部署では八月中各課とも事務に支障ない限り全吏員に對し特に一週間の有給休暇を與えることに決定した

小名濱町役場では八月二十六日午前一時頃全町消防團の協力を得て野荒退治を行つた結果、定西地內で荒している全町宮下中山齊藏佰職柴崎德男（二七）町田榮七（二七）西村繁夫（四六）若月良平（二四）會原清（二二）の一味五名を逃捕した、柴崎等は去る八日夜泉村瀧尻地內で南瓜十貫、二十五日夜は全町字後田地內で瓜約十五貫を二十七日夜は泉村から又南瓜十六貫を盜んでいたもの

白銀驛前大通り
金座街夜店
八月一日開店
一般出店歡迎　電燈及費用一切不要
夜店連絡事務所
上原時計店
電二

盆提灯の御注文は
御代提灯店
湯本町表町局郵電話一七四

内外小兒科科科
レントゲン
金成醫院
平市鎭田町電八二六
醫師　諸橋一郎

價の安い
確な時計
店
サービスの街
銀座
光堂
サービスの
誠
平市銀座街　電982

夏の郡南史蹟めぐり

①

史談會員　鈴木光四郎

磐城史談會の第九回の行事は盛夏の候、勿來の關や平潟附近の史蹟をめぐり調査することになつた。うすぐもりの涼しい日であつた。山森會長根本、野木の兩氏をはじめ會員七名、それに磐女社會部の茅根君以下八名が參加した。八時の汽車で勿來驛に下車したが、この日の解說者山田中學のしづく石氏は吾々一行を待つて居られた。

新道に沿うて勿來の關に着いたのは九時過ぎであつた。しづく石氏は關の附近に在る碑文や古事を詳細に解說して下さつた。

名古曾の關の由來

文獻に始めて表はれたのは崇神天皇の十年（約二千年前）に四道將軍を派遣してエゾ地を開發したとき、大彥命は越後路より現在の福島縣に入り、東海道を北進された皇子武亭川別命は菊田關を通過して石城地方に入られた。このときの菊田關は勿來關以前の名稱ではないかといはれているのである。その頃の關は現在より山に深くよつていたとも、又海岸に近かつたともいはれているが明かではない。然し關が在つた事は確かである。

名古曾關が設置された時期

佐藤氏著の古事考に次のような記錄がある。「勿來の關は常奧の境界にあり奧州三關の一にして、その名海內に顯る。三關とはなこそ白河、念珠にして東海より奧州に入るにはなこその關下野より入るには白河の關越後より出羽に入るには念珠の關を通らざれば、みちのくに入る能はず然もその建置興廢國史に載せず或は孝德天皇（奈良時代、千二百年前）の御宇に置くと、或はいう元明天皇（千二百三十年前）の御宇なりと、けだしこの關を設けしはエゾを防ぐ爲なり」と。又三代實錄には

「貞觀八年（千八十二年前）正月常陸國鹿島神宮司言大神之苗孫神主三十八社、在陸奧國、延曆以往割大神封物、奉弊向彼諸神社、嘉祥元年（千百年前）奉幣向彼、而陸奧國稱無例、不聽入關、宮司等於關外ハライ棄幣物而歸。」

とあつて嘉祥以前即ち奈良時代の末期か平安時代の初期に關が設置されたものと解することが出來るのである。

平窪鑛害問題

まだまだもつれ氣味

復舊工事費支拂い問題から

市內中平窪の鑛害地問題は赤井日曹炭鑛側から八反四畝の對策費として九万五千百五十五円を被害者鈴木一久氏ほか九名に支拂うこととし取敢えず三割の三万一千七百十八円を前渡し給水や地固め工事費に當てることにしたがその後工事も一段落し田植も終了したので被害者側から殘金の請求を會社側へ行つた、これに對し日曹炭鑛は當初の工事豫定通りに行つていないから約束通りの支拂は出來かねるとしてこれに反對、結局石炭局保安課と市鑛害對策委員會が仲介の勞をとり円滿解決を圖ろうとして腐心しており二、三日前も四者からなる現狀視察を行つたが作況は思のほか良いことが判つた、「約束の四、五割程度の工事を行つたのみで金額を要求するのはひどい」と主張する會社側と「約束通り履行せよ」と迫る被害者をめぐつてまた〳〵もつれかゝろうとしており各方面から成行きが注目されているので近くまた署間で解決への談合をすることになつている

なお會社側では鑛害地の部落民のためポーリングによる地下水の揚水と小川江筋を利用した飲料水の提供の何れかを以つて給水すべくその計畫を石炭局へ提供しておりこうした會社側の動きもその熱意の程を示す現れとして會社側では實現に邁進している

石油配分基地

小名濱、江名間に設置案決る

運輸、商工兩省の管轄の下に今度江名町と小名濱港の中間に約千五百トンを收容する石油タンク二基乃至三基が建設されることに決定した、まだ具体的には地元へ報告はないがこれは福島、茨城兩縣下への石油配分基地として縣が主体となり今秋ごろまでには着工する豫定でこれに伴う給油殘積は小名濱港に新設され船舶による石油の移出入を容易ならしめタンクから油送管で結ばれることになつた、これが實現すると小名濱を中心とした本縣地に茨城方面への陸上輸送は活潑化し更に近海漁船群への給油も大いに便利になるわけで期待される

少年を救う

平市署の兩巡査

內鄉町綴字一ノ坪雜貨商鈴木庄三郎さん二男秀次君（一一）は野菜五貫匁をつけて二十八日夜九時ころ無燈火で自轉車を走らせるうち平市長橋町尼子橋附近でトラックとスレ違う際轉倒、右足首に裂傷を負い歩行出來すにいるのを平市署佐久間橋本宗兩巡査が發見、應急手當を加えた上トラックで歸宅させたので、庄三郎さんはこれこそ警官の範だとすつかり感激している

集募賞懸歌鑛炭

が局炭石平に動運家啓

平石炭局では二十八日午後一時から市內勞働會館に石炭增産啓蒙運動實施打合せ會を開いた結果、目下計畫中の第二、四半期增炭運動一環として「炭鑛の歌」歌詞懸賞募集について協議、右の要領で募集することになつた

歌詞內容は炭鑛を母体とし鄉土色の濃い民謠調で建設的なものたること、應募資格は炭鑛從業員、締切りは八月二十五日、送り先は平石炭局內增炭宣傳係宛

賞金は一等一名三千円、佳作五百円（四名程度）應募者は炭鑛名、職名、氏名を明記する、なお當選歌は專門作曲家に依頼作曲後發表會を開催する、審査委員は組合側は炭勞事務局長添田計厚生文化部長菊地勇の二氏、經營者側二名は目下鑛業連盟で人選中

靴と運動具の店
何品でも豐富に揃つて居ます
野球チーム御編成の節は御相談下さい
平市田町三田小路（住宅會社トナリ）
正確の店　大塚運動具店
電話77

疑似赤痢
神谷村大字鎌田字岸佐藤惠美子ちゃん（六ツ）は二十九日疑似赤痢と判明隔離

精工舍の時計
常磐屋時計店
平一（電三三九）

所得稅の申告期日

本年は七月末日限り

本年の所得稅四月予定申告の申告期限は本月末日限りとなつたが當局では早目に申告を濟ませるよう要望している。これは今回の稅法改正で基礎、控除、扶養控除等の引き上げ稅率の引き下げ等で稅負擔は輕減されるが所得は一般に增加していること、前年度には年度末に納稅が重り、又申告の不完全のため更生決定を受けて相當混亂した經驗から本年は特に勵行して納稅者の負擔を適正にしようといふわけであるなお事業等所得者で年見積所得一萬三百二十五円を超える場合は洩れなく正當な申告をすることになる。

昭和二十三年分所得稅

第一期予定申告　七月一日の現況で見積つた一年間の所得が一萬三百二十五圓を超える方は、所得金額と稅額を申告して下さい。

第一期分納稅　予定納稅額の三分の一を納付書をそえて郵便局、銀行へ納付して下さい

◇…期日は七月三十一日まで

仙臺財務局
平稅務署

日時　八月一日―十四日・八時半―十時半
會場　平市南町一・平文化服裝學院
教材　レッツ、ラーン、イングリッシュ卷

英語夏季講習會
程度　中學三年程度ヲ標準トシ實力養成ヲ主眼トシテ講義ス
會資　百二十円
講師　英語補導會主宰　文學士　鈴木傳三郎

電話番號變更御知らせ
耳鼻咽喉科
大和田病院
舊の一七〇番が復活しました
平市南町十六番地

內科　小兒科　外科
若松醫院
若松吾信　小野彌久
（入院室完備）平市大町二三　電五〇五番